

第 72 年度（令和 7 年度）事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

大阪市北区大深町 5 番 54 号
グラングリーン大阪南館パークタワー

公益財団法人 篷 庵 社

第 72 年度（令和 7 年度）事業報告

（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施した。

II. 事業の実施状況

1. 研究助成金の交付

令和 7 年度の研究助成金として、研究助成（全国対象 20 件 1,500 万円）、および特別研究助成（近畿 2 府 4 県以西対象 5 件 2,500 万円）、計 25 件 4,000 万円を交付した。

1) 研究助成（推薦支援型）

- ・ 全国対象

- ・ 助成額 75 万円/件・年

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：5 件、 新規：5 件

計 20 件 計 1,500 万円

2) 特別研究助成（公募型）

- ・ 近畿 2 府 4 県（京都、大阪、滋賀、奈良、和歌山、兵庫）の各府県及びそれ以西の西日本（中国地方、四国地方、九州地方、沖縄県）対象

- ・ 助成額 500 万円/件・助成期間 2 年（初年度に全額支給）

新規 : 5 件

（助成継続中：2 年目 4 件）

計 5 件 計 2,500 万円

総計 25 件 計 4,000 万円を交付した

各助成金の交付先は【別紙 1】の通り。

2. 令和 8 年度助成事業対象者の募集および審査・選考

1) 令和 8 年度 篷庵社助成（推薦支援型）

（1）募集および第一次審査

令和 7 年 3 月 14 日理事長より外部理事及び評議員に令和 8 年度篷庵社助成の候補者の選出を依頼し、大阪大学、京都薬科大学、東京大学、帝京大学、国立感染症研究所、北海道大学等全国から 9 名の候補者が選出された。令和 7 年 5 月 21 日の第 1 回選考委員会・企画会議

にてこれらの候補者の第一次申請書の審査を研究業績および当財団の目的に適う人物であるか等、評価指標及び選考基準を基に審議を行った。審議の結果、5名を第二次審査の対象者として選定した。

以上の結果について、令和7年5月27日に選考委員長から理事長へ答申し、同年6月10日開催の理事会にて承認可決した。これら5名について同年7月28日に理事長より各選出者に第二次申請書の作成を依頼した。

（2）第二次審査及び選考

第一次審査にて決定された5名の第二次申請書について評価指標を基に3段階評価にて書面審査を行い、その結果に基づき令和8年1月22日開催の第2回選考委員会にて対面で審議し、この5名を令和8年度篷庵社助成の助成候補者とすることを決定した。以上の結果について、同年1月28日に選考委員長から理事長へ答申した。

令和8年3月5日開催の理事会にて、各候補者の選出者より研究概要及びチェックシート【別紙2】の内容、また当財団の目的に適った研究者であること等詳細に説明し質疑応答を行ったのち、理事会にて慎重に審議してこれら5名について令和8年度篷庵社助成対象者として承認可決した。

2) 令和8年度 若手研究者助成、中堅研究者助成（公募型）

（1）募集テーマ等の決定

令和7年5月21日の第1回選考委員会・企画会議にて、令和8年度公募助成の募集テーマの選定および募集要項等の審議を行い、募集テーマを若手研究者助成、中堅研究者助成共通で、薬学系「医薬品創製技術の開発に貢献する基礎的研究」、医学系「難治性希少疾患の克服に貢献する基礎的研究」に決定した。募集方法については、募集案内を近畿2府4県（京都、大阪、滋賀、奈良、和歌山、兵庫）の各府県及びそれ以西の西日本（中国地方、四国地方、九州地方、沖縄県）の大学等研究機関へ郵送し、募集要項を篷庵社ホームページへ掲載して、Webシステムによる応募とした。また募集期間を令和7年9月1日から10月31日とすることも決定した。これらについて令和7年5月27日に選考委員長から理事長へ答申し、同年6月10日開催の理事会にて承認可決した。

（2）募集および審査選考

令和7年9月1日から10月31日までの募集期間に若手研究者助成に薬学系12件、医学系24件、合計36件の応募、また中堅研究者助成に薬学系13件、医学系26件、合計39件の応募があった。これらについて同年11月11日に選考委員長から選考委員に第一次審査として書面審査を依頼した。各選考委員がWebシステムにて評価指標を基に5段階評価にて審査を行い、その結果に基づき令和8年1月22日開催の第2回選考委員会にて対面で審議し、

若手研究者助成、薬学系 2 名、医学系 2 名、中堅研究者助成、薬学系 1 名、医学系 2 名、計 7 名を令和 8 年度公募型の各助成候補者とすることを決定した。結果について、同年 1 月 28 日に選考委員長から理事長へ答申し、3 月 5 日開催の理事会にて承認可決した。

3. 研究成果報告【別紙 3】

第 44 回研究助成発表会を令和 7 年 7 月 4 日、ヒルトン大阪（大阪府大阪市北区梅田 1 丁目 8-8）において開催した。

III. 財団運営の概況

1. 理事会の決議事項

(1) 書面開催：令和 7 年 5 月 8 日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題 1：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件

原案通り承認可決した。

議題 2：第 71 年度（令和 6 年度）事業報告の件

第 71 年度（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）事業報告書について原案通り承認可決した。

議題 3：第 71 年度（令和 6 年度）決算書承認の件

第 71 年度（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）決算について原案通り承認可決した。

議題 4：法人会計収益の公益目的事業への振替の件

原案通り承認可決した。

議題 5：理事及び評議員推薦の件

原案通り承認可決した。

(2) 令和 7 年 6 月 10 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：理事長（代表理事）・常務理事選定の件

原案通り承認可決した。

議題 2：第 71 年度（令和 6 年度）定期提出書類の件

原案通り承認可決した。

議題 3：令和 8 年度公募助成 募集テーマ及び募集要項決定の件

原案通り、令和 8 年度若手研究者助成及び中堅研究者助成の募集テーマを薬学系「医薬品創製技術の開発に貢献する基礎的研究」、医学系「難治性希少疾患の克服に貢献する基礎的研究」とすること等、承認可決した。

議題 4：令和 8 年度蓬庵社助成 第一次審査の件

原案通り承認可決した。

議題 5：内閣府への公益目的事業内容変更届出の件

原案通り承認可決した。

議題 6：研究助成選考基準・各助成評価指標改定の件

原案通り承認可決した。

議題 7：助成金交付規程改定の件

原案通り承認可決した。

議題 8：名誉理事選任の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1：理事長は令和 7 年度 1 回目の業務執行状況報告を行なった。

(3) 書面開催：令和 7 年 10 月 9 日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題 1：事務所移転に伴う登記及び内閣府への変更届出の件

原案通り承認可決した。

(4) 書面開催：令和 7 年 12 月 22 日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題 1：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件

原案通り承認可決した。

(5) 令和 8 年 3 月 5 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：第 71 年度（令和 6 年度）決算書修正の件

原案通り承認可決した。

議題 2：会議費規則制定の件

原案通り承認可決した。

議題 3：特定資産追加取得の件

原案通り承認可決した。

議題 4：基本財産運用方法変更の件

原案通り承認可決した。

議題 5：第 73 年度（令和 8 年度）事業計画承認の件

第 73（令和 8 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 27 件とすること及び令和 8 年 7 月 10 日に第 45 回研究助成発表会を開催すること、また令和 9 年度助成の募集等を行うことを原案通り承認可決した。

議題 6：第 73 年度（令和 8 年度）収支予算承認の件

第 73 年度（令和 8 年度）収支予算について原案通り承認可決した。

議題 7：資金調達及び設備投資の見込みの件

原案通り承認可決した。

議題 8：当該事業年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容、収益事業の内容に

ついて記載した書類の件

原案通り承認可決した。

議題 9：令和 8 年度 公募助成 受領者決定の件

令和 8 年 1 月 22 日開催の選考委員会の決議通り、令和 8 年度助成者について若手研究者助成 4 名、中堅研究者助成 3 名を原案通り承認可決した。

議題 10：令和 8 年度 篷庵社助成 受領者決定の件

令和 8 年 1 月 22 日開催の選考委員会の決議通り、篷庵社助成 5 名について慎重審議の上、原案通り承認可決した。

議題 11：選考委員の補欠選任及び選考委員長選任の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1：理事長及び常務理事は、令和 7 年度 2 回目の業務執行状況報告を行なった。（内閣府立入検査報告含む）

2. 評議員会の決議事項

(1) 令和 7 年 6 月 10 日定時評議員会

（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：議長選定の件

互選により選定した。

議題 2：議事録署名人選定の件

互選により 2 名を選定した。

議題 3：第 71 年度（令和 6 年度）事業報告及び決算書承認の件

第 71 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録等について原案通り承認可決した。

議題 4：理事選任の件

原案通り承認可決した。

議題 5：評議員選任の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1：内閣府への公益目的事業内容変更届出の件

(2) 令和 8 年 3 月 5 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：議長選定の件

互選により選定した。

議題 2：議事録署名人選定の件

互選により 2 名を選定した。

議題 3：第 71 年度（令和 6 年度）決算書修正の件

原案通り承認可決した。

議題 4：特定資産追加取得の件

原案通り承認可決した。

議題 5：第 73 年度（令和 8 年度）事業計画承認の件

第 73（令和 8 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 27 件とすること及び令和 8 年 7 月 10 日に第 45 回研究助成発表会を開催すること、また令和 9 年度助成の募集等を行うことを原案通り承認可決した

議題 6：第 73 年度（令和 8 年度）収支予算承認の件

第 73 年度（令和 8 年度）収支予算について原案通り承認可決した。

議題 7：資金調達及び設備投資の見込みの件

原案通り承認可決した。

議題 8：当該事業年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容、収益事業の内容について記載した書類の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1：会議規則制定の件

報告事項 2：基本財産運用方法変更の件

報告事項 3：令和 8 年度公募助成・篷庵社助成 受領者決定の件

報告事項 4：選考委員の補欠選任及び選考委員長選任の件

報告事項 5：内閣府立入検査報告

3. 報告事項

(1) 令和 7 年 6 月 25 日

行政庁（内閣府）へ第 71 年度（令和 6 年度）事業報告書および監査報告書を提出した。

(2) 令和 7 年 6 月 30 日

行政庁（内閣府）へ代表者及び理事、評議員変更届出を提出した。

(3) 令和 7 年 7 月 15 日

行政庁（内閣府）へ公益目的事業の内容の変更（【中堅研究者助成（45 歳以上 55 歳以下対象）】の追加）について変更届書を提出した。

(4) 令和 7 年 8 月 7 日

行政庁（内閣府）に令和 7 年 6 月 25 日付けで提出した書類について修正可能書類通知書が届き、「事業活動に関する重要な事項」の(4)他の団体の意思決定に関与することができる財産保有の有無を「保有していない」とする修正届出を提出した。

(5) 令和 7 年 12 月 4 日

行政庁（内閣府）へ主たる事務所の所在場所変更について変更届書を提出した。

(6) 令和 8 年 1 月 23 日

行政庁（内閣府）の立入検査が実施された。

(7) 令和 8 年 3 月 11 日

行政庁（内閣府）に令和 7 年 6 月 25 日付けで提出した書類について修正可能書類通知書が届き、令和 6 年度の財務諸表（修正済）の差し替え及び指示があった項目を修正し修正届出を提出した。

(8) 令和 8 年 3 月 19 日

行政庁（内閣府）へ令和 8 年度事業計画書および収支予算書等の定期提出書類を提出した。

4. 運営体制の充実を図るための取組

- ・適正な会計処理と透明性を明確にするため、「会議費規則」を制定した。

以上

令和 7 年度研究助成金交付先一覧表

◆ 研究助成 (1 件 75 万円×20 件= 計 1,500 万円)

*所属は申請時のもの

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ
4 年 目	東京大学 大学院薬学系研究科	上野 匡	機能性小分子を応用した細胞内シグナル伝達の操作と可視化
	広島大学 両生類研究センター 発生研究部門 発生再生シグナル研究ユニット	鈴木 厚	誘導因子シグナルによる胚発生と組織再生の制御機構
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	南部 寿則	高反応性スピロシクロプロパンの開裂一環化反応を用いる新規環状化合物合成法の開発とその応用
	大阪大学大学院 基礎工学研究科	久木 一朗	ねじれたパイ共役分子を用いた水素結合性キラル多孔質結晶材料の開発
	日本大学文理学部生命科学科	安原 徳子	核輸送因子 importin α の細胞内機能の切り替えとその生理作用の解明
3 年 目	徳島大学医歯薬学研究部 応用栄養学分野	瀬川 博子	成長・老化を制御するリン代謝調節機構の解明
	京都大学大学院医学研究科薬剤学/医学部附属病院薬剤部	中川 貴之	シュワン細胞を標的とした末梢神経再生に基づく末梢神経障害治療薬の探索
	高崎健康福祉大学薬学部・薬学科 分子動態制御学	中西 猛夫	肝物質動態の変化に基づく N A F L D の病態理解と診断法の開発
	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所	藤井 晋也	有機金属化合物の特性を利用した分子設計法の開発と医薬リード創出
	大阪大学大学院薬学研究科 生物有機化学分野	山口 卓男	創薬応用に向けた多機能人工核酸の開発
2 年 目	徳島大学 大学院医歯薬学研究部薬理学分野	池田 康将	鉄ストレス制御による慢性腎臓病の新たな治療戦略の創出
	北海道大学 大学院先端生命科学研究院	上原 亮太	染色体倍加による脈管内がん細胞凝集の分子機序と病理的意義の解明
	立命館大学薬学部	土肥 寿文	革新的メタルフリーカップリング戦略に基づく医薬分子合成法の開発
	大阪大学大学院工学研究科	平野 康次	光学活性含フッ素有機分子のケミカルスペース拡張を目指した不斉触媒の開発
	九州大学大学院薬学研究院	山田 健一	新規酸化リン脂質の探索・評価
新 規	名古屋大学大学院創薬科学研究科 細胞薬効解析学分野	小坂田 文隆	脳内情報表現の可塑性の解明とその制御による治療応用の探索
	東京大学大学院薬学系研究科	小松 徹	1 分子レベルの酸化還元酵素活性検出系の開発と proteoform レベルの機能解析による疾患の理解の深化
	熊本大学大学院生命科学研究部 (薬学系)	中村 照也	DNA 複製・修復にかかわる酵素反応機構の解明
	東京慈恵会医科大学医学部	山田 幸司	小胞体を起点とした核移行タンパク質の分泌機構の解明と発がん研究
	東京理科大学 理学部第一部 物理学科	山本 貴博	光音響イメージング増強剤としてのカーボンナノチューブの光熱物性研究

◆ 特別研究助成（新規：1件500万円×5件＝計2,500万円）

助 成		所 属（申請時）	研 究 者 名	研究テーマ
新 規	薬学系	大阪大学 産業科学研究所 複合分子化学研究分野	伊藤 幸裕	RNA を選択的に切断する分子の創製とその 創薬研究への応用
	薬学系	京都大学 大学院薬学研究科 薬品合成化学分野	瀧川 紘	天然物の構造多様化を鍵とする ABC トラン スポーター制御分子の開発研究
	医学系	京都大学 医生物学研究所	橋口 隆生	ウイルスフリー実験系を用いた高病原性ウ イルスの中和抗体逃避機構の解析
	医学系	香川大学 医学部薬理学	北田 研人	加齢や肥満に伴う筋萎縮の新たな発症機序 解明：組織水分量と浸透圧ストレスの観点か ら
	医学系	京都大学 医生物学研究所 がん・幹細胞シグナル分野	服部 鮎奈	悪性腫瘍における細胞内アミノ酸代謝を標 的とした創薬研究

◆ 特別研究助成 助成継続中（助成期間2年）

助 成		所 属（申請時）	研 究 者 名	研究テーマ
2 年 目	薬学系	京都大学 大学院薬学研究科	井貫 晋輔	自然免疫型 T 細胞の機能を利用した新たな 創薬モダリティの創出
	薬学系	九州大学 大学院薬学研究院	矢崎 亮	非天然アミノ酸が拓く細胞内 PPI 標的中分 子ペプチド創成
	医学系	熊本大学 大学院生命科学研究 部（医学系）	諸石 寿朗	「抗原・アジュバント一体型糖鎖修飾金ナノ 粒子」によるがん免疫療法の創生
	医学系	京都大学 医生物学研究所	木村 香菜子	HTLV-1 感染症征圧のための構造生物学的 手法を用いた新規モダリティ開発

公益財団法人蓬庵社 蓬庵社助成 申請書作成チェックシート

選出条件【必須】

満たされているかご確認ください。

● シオノギ製品を用いた臨床研究を含まない研究であること	☐
● 候補者の年齢は満 55 歳以下であること	☐

選出条件

以下について、いずれかの内容が記載されているかご確認ください。

※いずれかの項目に該当するものが一つでもあれば、対応する(1)～(3)のチェック欄にチェックを入れてください

(1) 優秀な素質を有するが、財源不足のため研究の継続が困難である研究者		☐
1	候補者の学歴及び職歴が助成対象として相応しいか。	
2	最近 5 年間の発表論文リストの内容が助成対象として相応しいか。	
3	本研究を実施するために使用する研究施設・設備等、現在の研究環境の状況に不足が生じているか。	
(2) 他からの助成が受けにくい薬学等の基礎研究を行っている研究者		☐
1	本研究は独立したテーマであり、助成の必要性・妥当性に問題ないか。	
2	本研究の全体構想及び研究目的について、特に次の点について焦点を絞り具体的かつ明確に記述されているか。 ①研究の学術的背景と現在の状況および、今後期待される成果 ②研究期間内に何をどこまで明らかにするのか	
(3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者		☐
1	候補者の年齢が特に若手の満 45 歳以下である。	
2	推薦者からみた候補者の研究遂行能力の高さ、研究分野で十分大きな役割を果たすと期待する理由の記述があるか。	
(4) その他 上記以外で当財団の目的に適った研究者・テーマである場合は、理由をお書きください		

推薦者は候補者と直接的な利害関係となる事実はありません。

推薦者：

第44回公益財団法人蓬庵社研究助成発表会

日 時： 令和7年7月4日(金)10時00分から16時20分

場 所： ヒルトン大阪 京都の間

10:00-10:05	ご挨拶	公益財団法人蓬庵社	理事長	
	演 題（講演20分、討論10分）			座 長
10:05-	1.	神経変性疾患の核酸医薬創薬に向けたシャペロンRNAの実証		
		北村 朗 先生 (北海道大学大学院先端生命科学研究院)		西村 紳一郎 先生
10:40-	2.	新規アルツハイマー病モデルマウスの病態解析と新規バイオマーカーの探索研究		
		久米 利明 先生 (富山大学 学術研究部 薬学・和漢系)		佐藤 公道 先生
11:15-	3.	粘膜バリア突破型微粒子による革新的DDSの創製と細胞機能制御		
		田原 耕平 先生 (岐阜薬科大学)		桐野 豊 先生
11:45-	昼 食 休 憩			
12:35-	4.	データ駆動型アプローチとゼブラフィッシュを用いた肝庇護薬探索		
		西村 有平 先生 (三重大学大学院医学系研究科 統合薬理学分野)		岩尾 洋 先生
13:10-	5.	急性腎障害に併発する血管機能障害に対する薬理学的研究		
		大喜多 守 先生 (大阪医科薬科大学 病態分子薬理学研究室)		宮崎 瑞夫 先生 代 理 高井 真司 先生
13:45-	6.	《特別研究助成》 加齢に伴う脳機能低下の分子機序解明		
		藤田 幸 先生 (島根大学 医学部 発生生物学)		塩野義製薬(株) 近藤 麻美 氏
14:15-	休 憩			
14:35-	7.	《特別研究助成》 心筋ターンオーバーにおける低酸素シグナルの機能と 加齢性心不全治療への応用		
		木村 航 先生 (理化学研究所生命機能科学研究センター心臓再生研究チーム)		塩野義製薬(株) 新井 透子 氏
15:10-	8.	《特別研究助成》 異常核タンパク質の化学変換を指向したTDP-43リン酸化翻訳後修飾体の 自己会合性研究		
		相馬 洋平 先生 (和歌山県立医科大学 薬学部)		塩野義製薬(株) 日下部 兼一 氏
15:45-	9.	《特別研究助成》 個体恒常性の加齢性変容にも影響しうる新たな腎老化制御機構の解明		
		尾花 理徳 先生 (大阪大学 大学院薬学研究科)		塩野義製薬(株) 富田 和義 氏

前記のとおりご報告いたします。

令和8年6月

公益財団法人 篷 庵 社

理事長 澤 田 拓 子

附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和8年6月

公益財団法人蓬庵社